

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立第四中学校

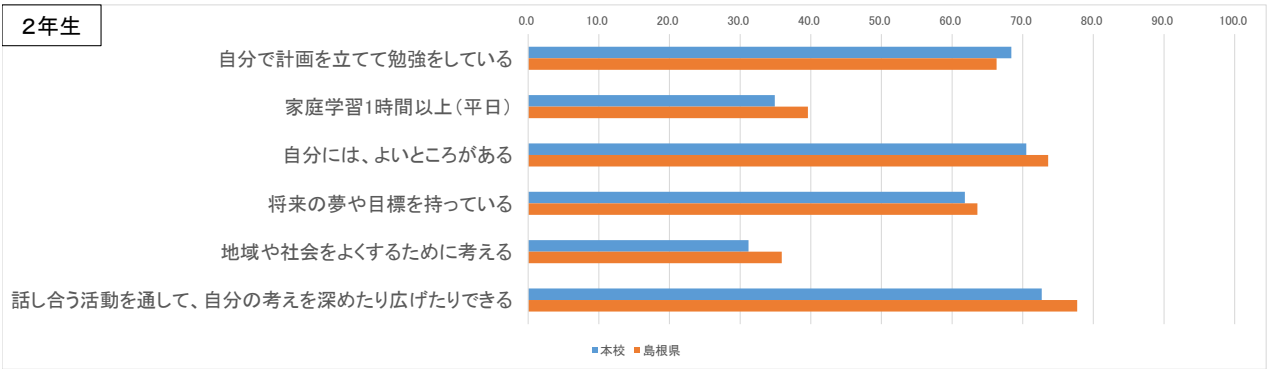
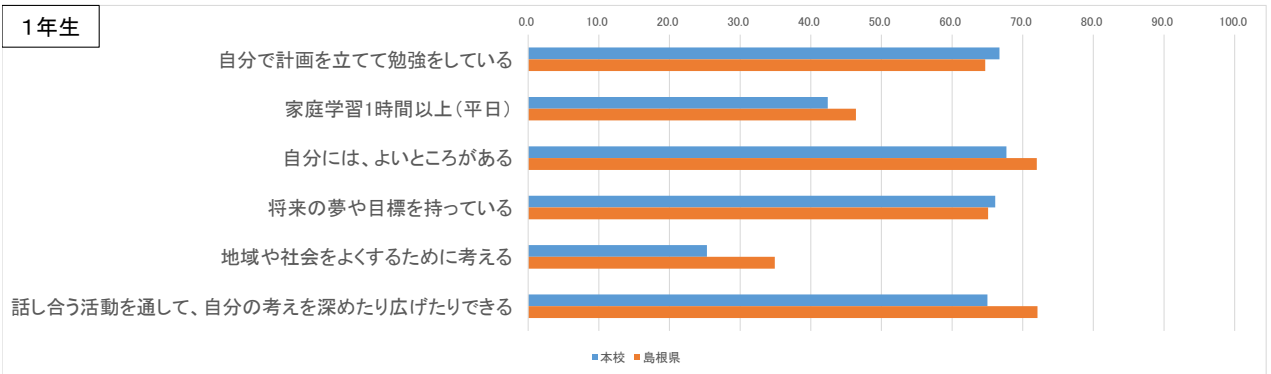
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
国語	○漢字を読むことは目標値を超えている。 ○文学的文章の読み取りは目標値に近い。 ●説明的文章の読み取りは目標値よりかなり低い ●漢字を書く力、文章を書くことに課題がある。	○漢字を読む力、文学的な文章の内容を読み取る力については、おおむね身に付いている。 ●漢字を書く力、調べたことをもとにレポートを書くことについて課題がある。
数学	○一次方程式の単元は目標値および県平均を超えている。 ●全体的に数値が県平均を下回っている。特に基礎の力を付けていく必要があると考えている。	○基礎は少しずつ定着してきている。 ○証明は目標値を上回っている。 ●関数領域が目標値からの差が大きい。 ●活用問題の対策が必要である。
英語	○小学校での外国語活動・英語学習のおかげで、聞いた情報を理解する力は概ね付いている。 ●対話の流れに沿って自然な応答をする力に課題がある。	○音声優位の指導を小学校から継続して指導してきたことで、聞くことについては概ね満足できる生徒が多い。 ●読み取ったことを理解して、自分の意見を表すなど領域統合型の問題に苦手意識のある生徒が多い。 ●前後のつながりなどを意識せずに表現してしまう生徒が多くいる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	1年生	2年生
意識	○将来の夢や目標をもっている生徒の割合が県平均より高い。 ○定期テスト前にテストに向けた学習計画を立て、勉強しようとしている生徒の割合が高い。 ●テストに向けた学習計画を立てても実際の行動に移せず、家庭学習時間が短く、意欲の高まりが見られない。	○定期テスト前にテストに向けた学習計画表を活用して計画的に学習を進めようという意識が高い。 ●家庭学習の時間が県平均よりも短いので、テスト期間外でもどのような学習をするとういかに意識付けを行う必要がある。 ●地域や社会をよくするために考えることについて数値が県平均を下回っている。総合的な学習の時間などを通して、3年間の積み重ねをしていくことが重要である。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】 1年生 186 名 2年生 183 名 (欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)